

ぴんち・だ・デリート

地雷コードで見られたくない書類を削除

解除コード

Enter

操作マニュアル

Ver.1

ぴんち・だ・デリート

公用や社内のパソコンに個人情報や人に見られたくない書類を残していませんか？

公益通報や社内監査で、私的情報が存在するパソコンを押収された場合、あせりますよね！

パソコンの盗難や紛失した場合の情報漏洩対策を考えていますか？

そんな「ぴんち」な事態に見られたくないファイルを安全に削除します。

「ぴんち・だ・デリート」は、そんなアプリです。

1. 解除コードが入力されるまでパソコンの操作ができないようにロックします。
2. ロック画面は好きな色やタイトルに変更でき、無断使用者を威圧します。
3. 安全に個人情報や機密情報、人に見られたくないファイルを削除します。
4. 指定回数のコード入力ミスでパソコンの電源を落とします。

通常の削除ではパソコン内のファイルのインデックスを消すだけで、ディスク内のファイル領域が残ったままになります。なのでファイル復元ツール等で復活が可能となります。

「ぴんち・だ・デリート」の削除は、ディスク内のファイル領域を特殊文字で書き換えた後、削除をおこなうので、復元はできなくなります。

※但し、オリジナルファイルをコピーしたものをおこなう場合は、オリジナルを本アプリで削除しても、コピー削除のファイル領域は残っていますので、そこからの復元は可能となりますので注意が必要です。



ぴんち・だ・デリート 操作マニュアル もくじ

■ インストール	1
■ ロック画面	2
■シリアル設定画面	2
■ ポップアップメニュー	3
■ 動作設定ダイアログ	4
■ 解除コード設定	5
■ ロック画面背景文字設定	6
■ 入力ボックス設定	7
■ ZIP圧縮設定	8
■ トリガー処理設定	9
■ 削除対象書類リスト	10
■ ファイルの新規登録	11
■ フォルダの新規登録	13
■ 削除用解除コードの動作例	14
■ 変更登録	15
■ 削除／ALL削除	16

利用承諾

本ソフトウェアを使用することにより、本契約に同意したものとします。

本ソフトウェアは個人利用の場合5台までのコンピュータで使用することを可能とします。

法人や組織等での利用の場合はパソコン台数分のシリアルの購入をお願いします。

本ソフトウェアを複写、解析、改変することは、全体または一部であってもこれを許諾しません。

本ソフトウェアの品質上の改善、技術面の向上などにより、予告なしにバージョンアップすることがあります。

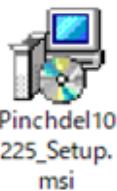
本ソフトウェアを利用することにより、直接または間接的に損害が生じても、作者(studio-moon.co)は一切の責任を負いません。

本ソフトウェアを使用した結果の影響に関しても、一切の責任は負いません。

本ソフトウェアの使用はすべて使用者の責任下においておこなってください。



ぴんち・だ・デリートのインストール セットアップ

Pinchdel10
225_Setup.
msi

① 圧縮ファイルの解凍

ダウンロードされた「ぴんち・だ・デリート」の圧縮ファイルを開いてください。

「README.TXT」と「操作マニュアル（本マニュアル）」

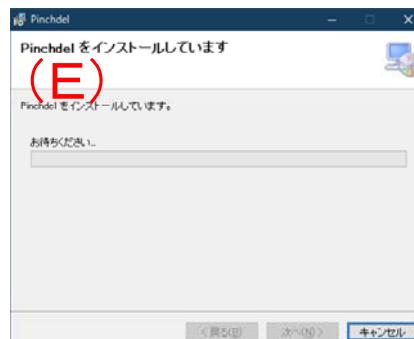
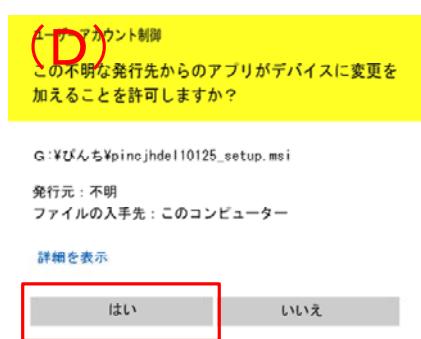
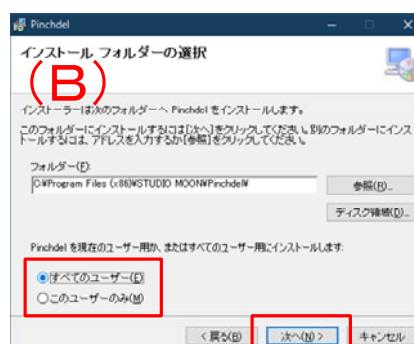
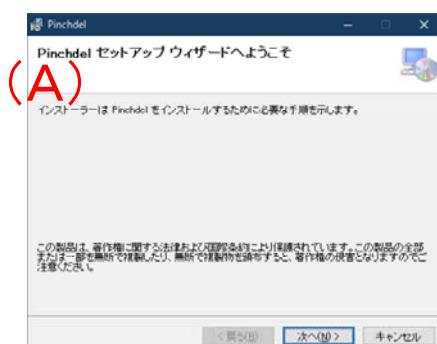
Pinchdel10225_Setup.msi のファイルが存在することを確認します。

※ pinchdel10225_setup.msi の「10225」は、バージョンが上がる毎に変わります。

② インストールの実行

Pinchdel10225_Setup.msi をダブルクリックしてインストラーを起動します。

下図の (A) ~ (F) のように進んでインストールを完結します。

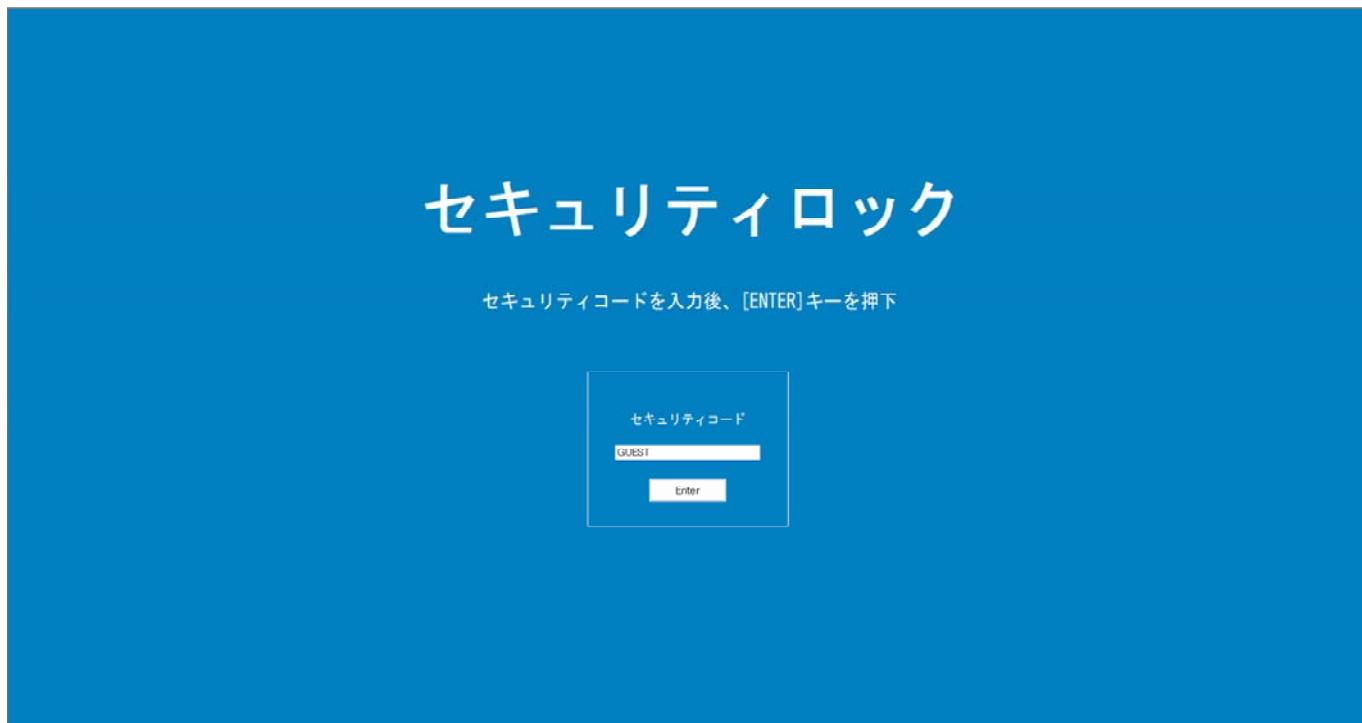


インストールが完了するとスタートメニューに「ぴんち・だ・デリート」が登録され、ディスクトップにショートカットアイコンが表示されます。

びんち・だ・デリート起動画面の説明

起動時の画面

ロック画面



びんち・だ・デリート（以降本アプリ）を起動するとパソコンの画面いっぱいに、上図のロック画面が表示されます。（お試し期間中は「シリアル設定画面」が最初に表示されます。）

この画面が表示されている間は、解除コードを入力する以外の操作はできません。

最初（初期値）の解除コードは半角英字の大文字「GUEST（アルファベット半角大文字）」です。解除後は、ポップアップメニューの「動作設定」 - 「パスワード」タグで正しいパスワードの設定をおこなってください。（お試し期間中は「GUEST」固定、変更不可です。）



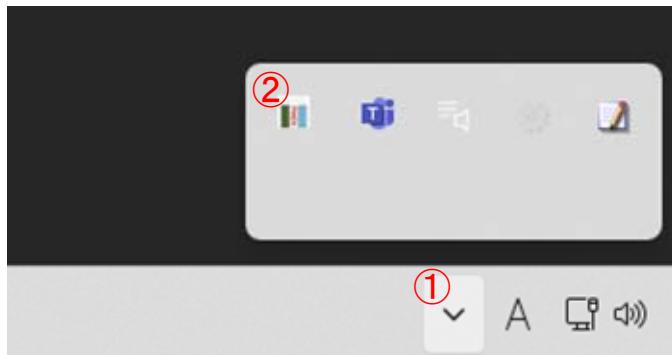
シリアル設定画面

お試し期間中（10日間）は、本アプリを起動する度、シリアル設定の画面が表示されます。

継続利用のお手続きして頂きますと、シリアル番号が届きますので、シリアルNo欄に入力してください。正式版として継続利用可能となります。

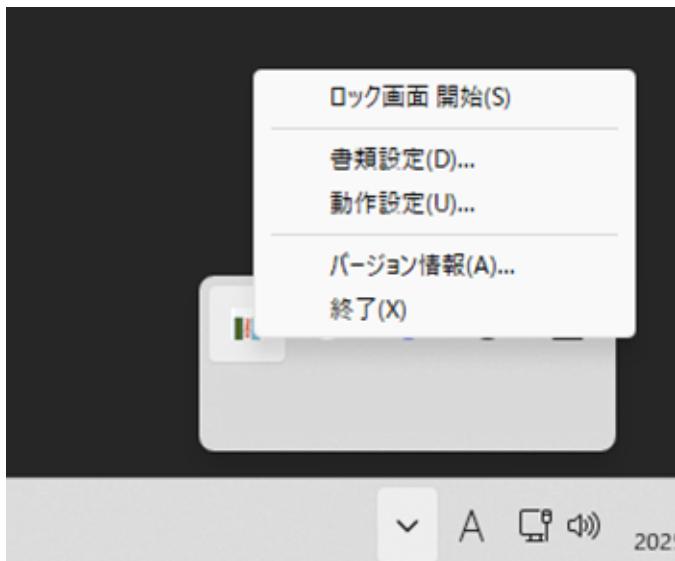
お試し期間中は、半角大文字英字で「GUEST」と入力して、ご利用ください。

ポップアップメニュー



タスクバー右下の通知領域の三角マーク①をクリックして、隠れているインジケーターを表示します。小さな消しゴムのアイコン②が「ぴんち・だ・デリート」のアプリです。

ぴんち・だ・デリートのアイコンをマウスクリックすると、ポップアップメニューが表示されますので、各種設定をおこなってください。



削除用解除コードで、ロック画面解除を行うと設定メニューが選べるので安心です。



① ロック画面開始(S)

パソコンの操作ができないように、ロック画面を表示します。

② 書類設定(D)...

自分以外の人が操作（不正使用等）した時に、削除したい書類（ファイル）を設定します。

③ 動作設定

正式な解除コードや削除用の解除コード、ロック画面の色や文字等の動作設定をします。

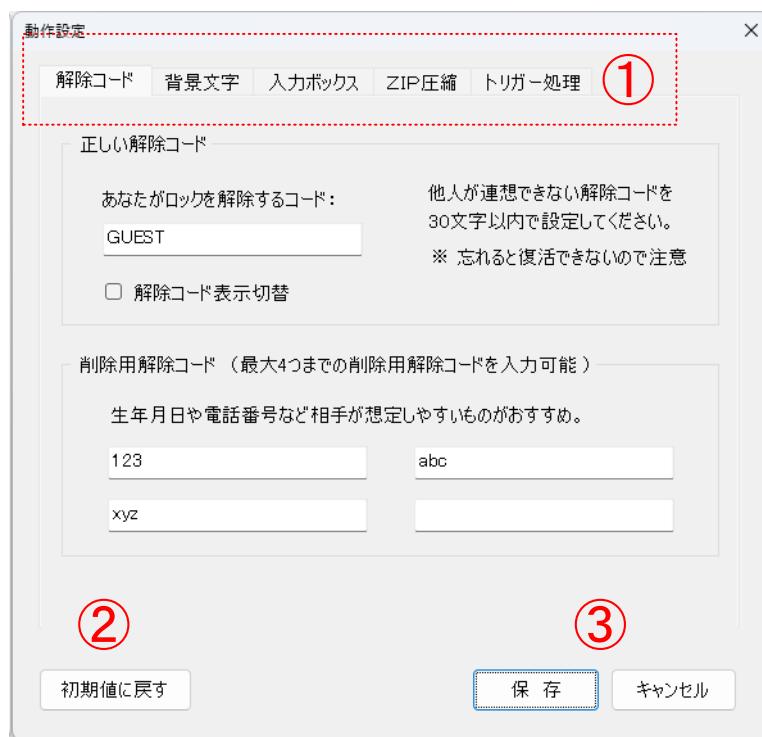
④ バージョン情報(A)...

本アプリのバージョン情報を表示します。

⑤ 終了(X)

本アプリを終了します。

動作設定ダイアログ



① 表示切替タブ

マウスクリックにより、機能グループ毎に「表示の切り替えをおこないます。

・解除コード タブ

ロック画面の入力ボックスへ入力する解除コードと削除用コードを設定します。

・背景文字 タブ

ロック画面の背景色、タイトル文字の設定をおこないます。

・入力ボックス タブ

ロック画面の入力ボックスの位置やタイトル文字の設定をおこないます。

・ZIP圧縮 タブ

削除書類をZIP圧縮してバックアップしたい場合、格納場所や解凍時のパスワードを設定します。

・トリガー処理 タブ

解除コードを何回ミスしたらパソコンの電源を落とす等の設定をおこないます。

② 初期値に戻す

動作設定を初期値（インストール時の初期設定状態）に戻します。

③ 保存／キャンセル

各機能グループで設定した内容を保存します。設定値を変更しただけでは、本アプリに反映しません。必ず「保存」ボタンをクリックして設定内容を保存してください。

設定した内容を破棄する場合は「キャンセル」を選んでください。

解 除 コ ー ド 設 定



正しい解除コード

普段あなたが本アプリのロック画面を解除する時に使用するコードを設定します。

他人に想定されない独自のコードを半角英数字30文字以内で入力してください。

※ 忘れると復活できないので注意

※ 忘れるとロック画面から解除できなくなるのでご注意ください。

解除コード表示切替

ロック画面のコード入力ボックスに解除コードを表示するか「●●●」の様に見えなくするかの設定をおこないます。

削除用解除コード

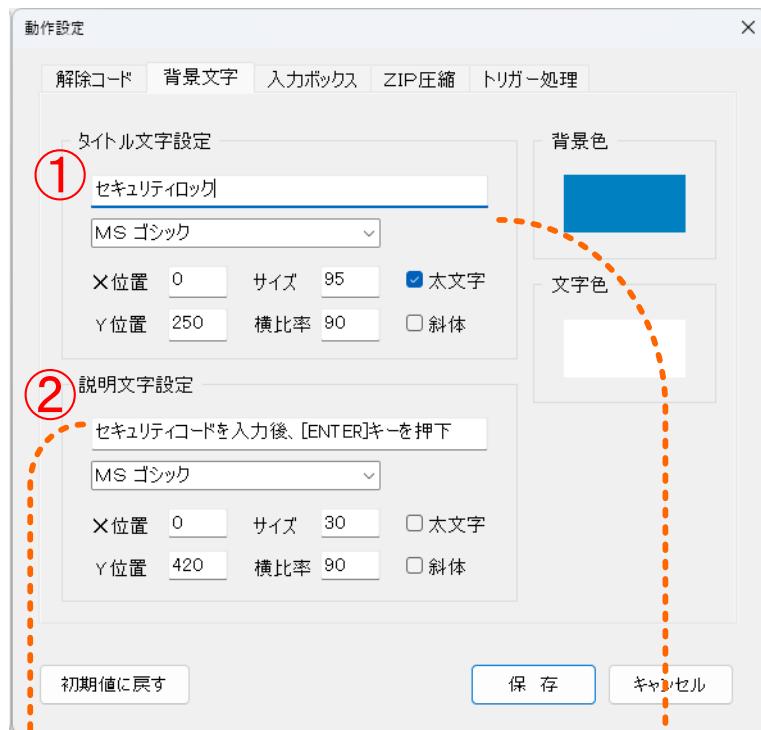
ここで設定されたコードをロック画面で入力すると、書類設定で削除対象として登録された書類（ファイルやフォルダ）を削除されます。最大4つまで登録可能です。

生年月日や携帯電話、家族の名前、Windowsのログインパスワード（PINコード）と同じものにするなど、他人から簡単に想定されそうなコードを設定することをおすすめします。

他人に見られたくないファイルが存在するパソコンを押収された時など、解除コードを尋ねられた場合は、こちに登録した「削除用解除コード」を教えることで、見られたくない書類（ファイルやフォルダ）を安全に削除できます。

※削除対象書類（ファイル）は、一度ファイルを特殊文字で埋め尽くして買い替えたのち、削除します。

ロック画面背景文字設定



① セキュリティロック

セキュリティコードを入力後、[ENTER]キーを押下



② セキュリティコードを入力後、[ENTER]キーを押下



④ 文字色

ロック画面に表示されるタイトル文字と説明文字の色を設定します。マウスクリックで色の設定をおこないます。

① タイトル文字設定

ロック画面のタイトルの文字やフォント、位置、サイズを設定します。

X位置は、文字列の真中と画面の中心位置を「0」とし、±で調整します。

Y位置は、画面一番上からの座標位置となります。

サイズは文字の大きさで、横比率は文字の縦横比率を設定します。

② 説明文字設定

メッセージ等の説明文の文字やフォント、位置、サイズを設定します。

各設定項目は、① タイトル文字設定と同様に設定します。

③ 背景色

ロック画面の背景色を設定します。

マウスクリックで下図のような「色の設定」ダイアログが表示します。お好きな色を選びます。



入力ボックス設定



① 入力ボックスの位置表示

ロック解除コードを入力するボックス領域の位置を設定します。

X Yとも0値の時は、ロック画面の中央に表示します。

② タイトル文字属性

入力ボックス内のタイトルの文字やフォント位置、サイズを設定します。

X位置は、文字列の真中と画面の中心位置を「0」とし、±で調整します。

Y位置は、ボックスの上からの座標位置となります。

サイズは文字の大きさで、横比率は文字の縦横比率を設定します。

③ 背景色

入力ボックス内の背景色を設定します。マウスクリックで色の設定をおこないます。

④ タイトルも文字色

入力ボックス内のタイトル文字色を設定します。マウスクリックで色の設定をおこないます。

⑤ 枠線 線種/色

入力ボックスの枠線の設定をおこないます。

プルダウンより、線の有無、種類を選びます。下のカラーボタンで色を変更します。

ZIP圧縮設定



① ZIP圧縮ファイル作成場所フォルダ

削除対象ファイルをZIPファイルとしてバックアップしておきたい場合の作成場所を設定します。

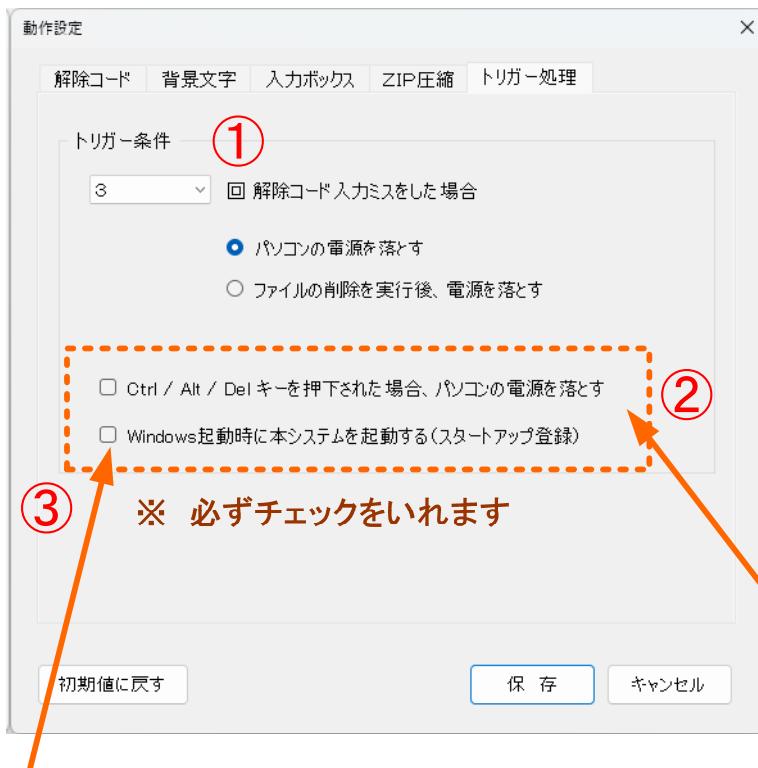
デフォルトでは、アプリのインストール先「C:\\$zipdir」に作成されます。

② ZIP圧縮ファイル解凍時のパスワード

ZIPファイルを解凍する際のパスワードを設定します。

パスワードは、半角英数字の組み合わせで30文字以内で入力します。

トリガー処理設定



① 解除コード入力ミス回数

ロック画面を解除するコードの入力ミス回数を設定し、達した場合に機能する処理を選択します。

② タスクマネージャー回避

ロック画面にてタスクマネージャーを呼びだす(Ctrl+Alt+Del)キーを押された場合にパソコンの電源を落とすか否かを選択します。

※ 本アプリを有効活用するために、必ずチェックを入れて、タスクマネージャーを起動されるコマンドを回避しましょう。

③ スタートアップ登録

Windows起動時に本アプリを起動するようにスタートアップに登録するチェックボックスです。

※ 本アプリを有効活用するために、必ずチェックを入れて起動時に起動するようにしましょう。

見られたくないファイルの設定方法

削除対象書類リスト

削除対象書類リスト



① プロパティエリア

登録された削除対象書類（ファイル、フォルダ）の属性などの情報を表示します。

② 表示切り替えラジオボタン

登録された削除対象書類（ファイル、フォルダ）の表示の切り替えをおこないます。

③ 削除対象リスト

登録された削除対象書類（ファイル、フォルダ）のリストを表示します。

処理済のファイルは、頭に【済】の文字が付きます。

④ 登録編集ボタン

新規登録：新規に削除対象書類（ファイル、フォルダ）を登録するための画面を表示します。

変更登録：変更したい書類（ファイル、フォルダ）をリストより選んで移行画面で変更します。

処理済（削除が実行された）の書類（ファイル（、フォルダ）は、変更できません。

削除：削除したい書類（ファイル、フォルダ）をリストより選んでクリックで削除します。

ALL削除：すべての登録書類（ファイル、フォルダ）を削除します。

⑤ 保存ボタン

保存：上記で編集した内容を削除対象書類データベースに保存します。

ここで保存しないと処理した内容が反映されません。

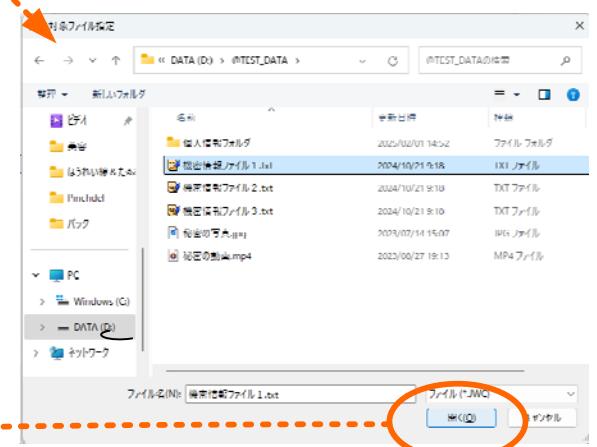
キャンセル：上記で編集した内容を破棄します。

ファイルの新規登録



削除対象書類枠のファイルにチェックを入れます。

参照ボタンをクリックして「ファイルを開く」ダイアログより削除対象のファイルを選んで「開く」をクリックします。

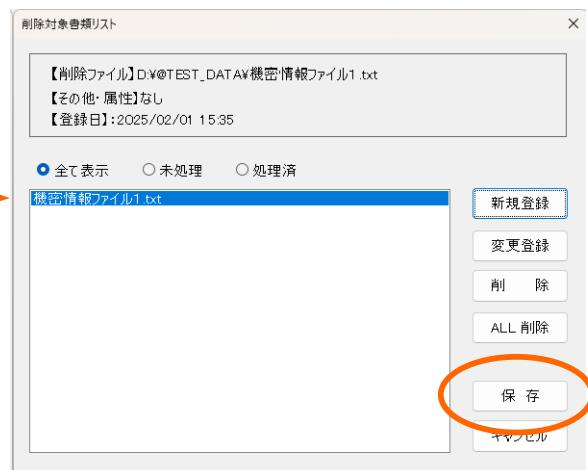


削除対象のファイルを選ぶと入力欄に反映されます。タイトルは、デフォルトでファイル名になっているで、ご自身で整理しやすいタイトルに変更できます。

設定内容に間違いがなければ「決定」ボタンをクリックして、リスト画面に戻します。

登録したファイルが、削除対象書類リストに表示されます。他にも削除したいファイルがある場合は、同様に新規登録をおこなってください。

「保存」ボタンで、リスト内容がデータベースに保存されるので操作に誤りなければ、必ず保存をクリックしてください。



ZIP圧縮の指定

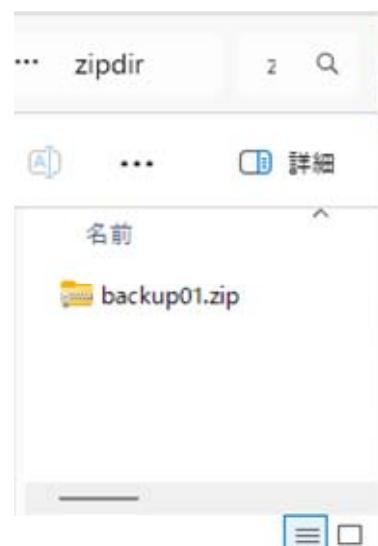


本アプリは、パソコンの無断使用等による機密情報の漏洩防止や人に見られたくないファイルの削除を目的したのですが、資料によって鍵付きのZIP圧縮でバックアップをとり、オリジナルを削除したいケースもあるかと考え、ZIP圧縮してバックアップをとる選択を付けております。

削除対象書類 新規 (or変更) 登録画面の属性で「ZIP圧縮後、削除する」にチェックを入れて「ZIP圧縮ファイル名」を入力します。

設定値に問題がなければ、「決定」ボタンをクリックしてください。

削除用解除コード入力時やトリガー発生で、動作設定のZIP圧縮で設定された場所や解凍パスワードでZIPファイルを作成します。



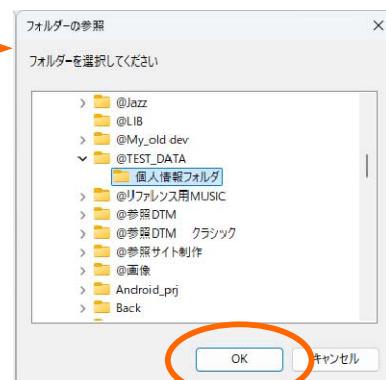
【注意】容量の大きなファイルやフォルダをZIP圧縮する場合、かなりの時間が発生します。

フォルダの新規登録



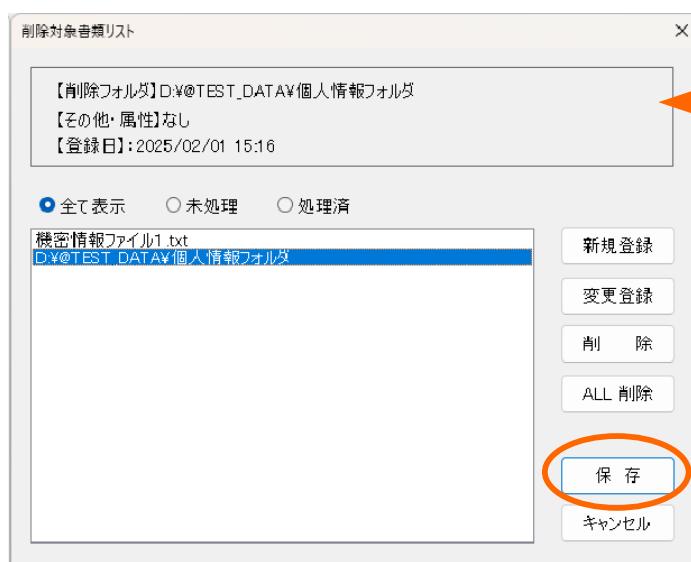
削除対象書類枠のフォルダにチェックを入れます。

参照ボタンをクリックして「フォルダの参照」ダイアログより削除対象とするフォルダを選んで「OK」をクリックします。



入力欄に削除対象フォルダが反映されます。
タイトルはデフォルトでフォルダ名になっているで、必要に応じて管理しやすいタイトルに変更してください。

内容に間違いがなければ「決定」ボタンをクリックして、リスト画面に戻ります。



「保存」ボタンで、リスト内容がデータベースへ保存されるで操作に誤りなければ、必ず保存を実行してください。

削除用解除コードの動作例



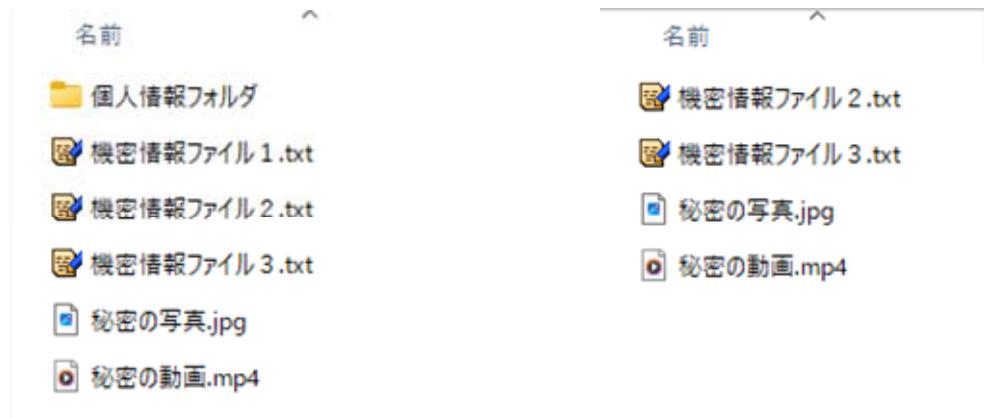
削除用解除コード（最大4つまでの削除用解除コードを入力可能）

生年月日や電話番号など相手が想定しやすいものがおすすめ。

0520	kazokunonamae
petnonamae	123

前ページで登録した削除対象書類を削除実行用解除コードでロック画面を解除するサンプルです。ロック解除コードに登録した削除実行コード「0520」入力して「Enter」キークリックします。

削除が実行され削除実行書類の「個人情報」フォルダと「機密情報ファイル1.txt」が削除されました。



変更登録

削除対象書類リスト

【削除フォルダ】D:\TEST_DATA\個人情報フォルダ
【その他・属性】なし
【登録日】:2025/02/01 15:16

● 全て表示 ○ 未処理 ○ 処理済

機密情報ファイル1.txt D:\TEST_DATA\個人情報フォルダ
--

新規登録
変更登録
削除
ALL削除
保存
キャンセル

登録されている削除対象書類の変更をおこないます。既に処理された削除対象書類の変更はできません。

① 変更対象を選択

リストより変更対象を選んで、右側の「変更登録」をクリックします。

削除対象書類変更登録

削除対象書類
○ ファイル ○ フォルダ
D:\TEST_DATA\個人情報フォルダ 参照

属性
タイトル(ファイル名)
個人情報格納フォルダ
○ 削除のみを行なう
○ ZIP解凍後、削除する
ZIP解凍するファイル名
ppp
決定 キャンセル

② 削除対象書類変更

削除対象書類（ファイル、フォルダ）や属性を変更して「決定」をクリックして変更をおこなってください。

③ 例) ZIP圧縮

本アプリは、所有しているパソコンを自分以外の人が操作して機密書類の閲覧や漏洩を防止するための削除アプリですが、やむなくZIPファイルとしてバックアップしたい場合、「ZIP解凍後、削除する」を選んで、ZIP圧縮するファイル名を入力して「決定」とします。

削除対象書類リスト

【削除フォルダ】D:\TEST_DATA\個人情報フォルダ
【ZIP圧縮】ファイル名: ppp
【更新日】:2025/02/01 16:06

● 全て表示 ○ 未処理 ○ 処理済

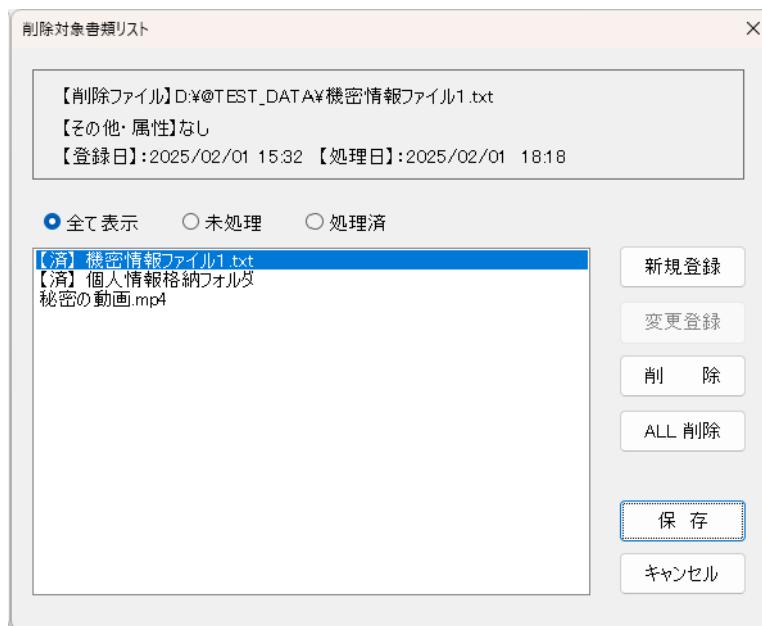
機密情報ファイル1.txt 個人情報格納フォルダ

新規登録
変更登録
削除
ALL削除
保存
キャンセル

④ 削除対象書類リストへの反映

変更された内容が削除対象書類リストへ反映されますので、変更内容に誤りがないかプロパティ等で確認後「保存」ボタンで削除対象書類をデータベースに保存します。

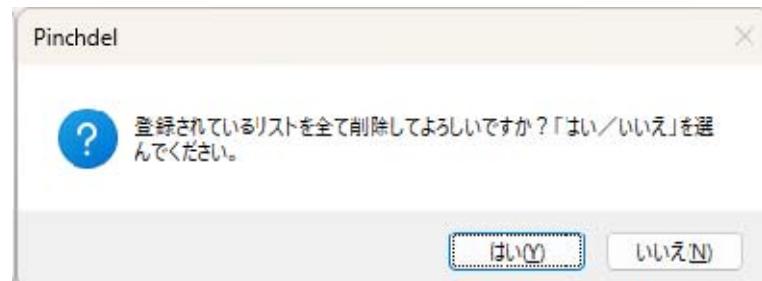
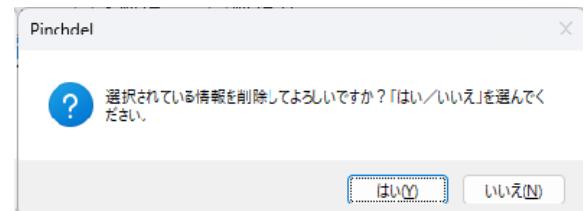
削除 / ALL 削除



削除

リストより削除したい情報を選び「削除」ボタンをクリックします。

確認メッセージが表示されるので、削除して問題がなければ「はい(Y)」をクリックするか「Y」を押して削除します。



ALL削除

登録済（リストすべて表示）の削除対象書類を一括ですべて削除する場合、右側の「ALL削除」をクリックします。

確認メッセージが表示されるので、問題がなければ「はい」を選んでALL削除を実行します。

書類データベースへ保存

上記の削除、ALL削除は、保存しないとデータベースへ保存されません。削除に間違いがなければ「保存」をクリックしてデータベースに反映させてください。

「いいえ」を選ばれると、削除が無効となりデータベースへの保存はおこなわれません。

本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。

ファイルの圧縮、解凍の基本部分の著作権はIgor Pavlov氏にあります。
7z圧縮方式のBZip2アルゴリズムはJulian Seward氏が作成し、PPMDアルゴリズムはDmitry Shkarin氏が作成しています。
統合アーカイバ仕様のDLL作成部分に関しては秋田 稔氏が著作権を保有します。

Windowsは、米国Microsoft Corporation の登録商標です。
その他、各会社名、各製品は各会社の商標または登録商標です。